

8-4-2 生産性向上WG

1. WG 活動目的

建設事業全体の生産性向上並びに DX 推進に向けた国交省による BIM/CIM 原則適用を目的として i-Construction（建設生産性改革）を推進する。

特に、BIM/CIM を 3 次元情報連携におけるマネジメントツールとして、また国際標準としての活用など、これからの建設生産・管理システムの構築に向けた産学官一体となった取り組み検討を実施する。

- (1) BIM/CIM に関する技術動向等の情報共有
- (2) ICT および BIM/CIM 活用促進
- (3) 会員企業の技術者教育の推進

2. 主な活動の記録

BIM/CIM 活用促進に向けた委員会活動等を通じ、要領基準類の整備・更新協力及び関連情報の共有を図った。

- (1) 生産性向上 WG の開催
 - ・今年度の検討課題等に対する幹事会開催 (R3/6/11) 及び第 1 回 WG を WEB 開催 (R3/7/9)
 - ・関係基準類の改定素案の内容確認や意見照会等について対面活動を避け、WEB 及びメール審議等により対応した。
 - ・各種委員会情報は DCB を活用し、情報共有を図った。
- (2) BIM/CIM 関連の対外活動への参加
 - ・BIM/CIM 推進委員会及び関連 WG への委員派遣
 - ・BIM/CIM 推進委員会 (R3/9/7、R4/2/21)
 - ・基準・国際検討 WG (R3/6/25、R4/1/27)
 - ・実施体制検討 WG (R3/7/26、R3/12/15、R4/3/9)
 - ・活用促進 WG (R3/5/25、R3/8/24、R3/12/2、R4/2/3)
- (3) i-Construction、ICT 導入推進に向けた活動
 - ・i-Construction 推進コンソーシアム企画委員会 (R3/6/7)
 - ・ICT 導入協議会 (R3/7/14、R4/2/28)
 - ・ICT 導入普及促進 WG (R3/8/27、R3/12/27、R4/3/27)。同パワーアシストスーツ導入検討 WG (R3/9/15)

- ・コンクリート生産性向上検討協議会 (R4/3/1)
- (4) 発注者研修並びに会員企業の技術者教育等に資する教育コンテンツの充実

- ・当 WG と連携する情報部会 ICT 委員会における関連技術情報を共有し、教育コンテンツを作成した。2 地整での研修講師を派遣した。
- ・国交省ポータルサイトの事例充実に協力した。

- (5) 「DX 推進特別本部」への個別検討報告

- ・DX 推進に向けた BIM/CIM 活用のあり方等（テーマ 2）について検討状況を報告した。

- (6) 産官学との関連技術情報の共有

① 国交省

- ・各種要領基準のフォローアップに協力した。
- ・3 次元モデル作成にかかる意見交換を実施し、業務フロー及び実施体制等を共有した。
- ・国総研 DX センターの機能要件（ストレージ、API、ASP 等）にかかる意見交換を実施した。

② i-Construction 東大寄付講座

- ・各業界団体におけるユースケースを共有した。
- ・第 2 期に向けたデータ連携における協調領域としての API 開発のあり方検討を開始した。
- ・第 1 期記念シンポジウムに登壇（設計領域）

③ bSI、bSJ

- ・国際土木委員会に専門委員として委員を派遣し、bSI が主導する国際サミット関連の情報を共有した。
- ・bSJ によるソフト間の互換性確保のための IFC 検定の実施に関し、3 次元 CAD ソフトウェアに求める機能要件を設計側から提示した。

④ 日建連等業界団体

- ・施工計画モデル（4 次元）や仮設数量の算定等に有効な 5 次元モデルのあり方に関する意見交換を実施し、関連委員会に提示した。

⑤ NEXCO 中日本

- ・i-Con 推進検討会に参加し、3 次元モデル活用に関する要領基準類の検討に協力した。

3. 次年度の活動について

国土交通省が掲げる「2023 BIM/CIM の原則化」に向け、技術検討支援や情報収集等を継続する。

（生産性向上WGWG長 加藤 雅彦）